【FdData 中間期末：中学歴史江戸時代】

[幕藩体制，親藩・譜代・外様の配置]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[幕藩体制]

[問題](要点把握)

次の下線部 A～F で誤っているものを 2 つ選び，正しい語句に直せ。

大名とは，将軍から A10 万石以上の領地をあたえられた武士をいい，大名の領地とその支配のしくみを B 藩といった。将軍直属の家臣で領地が A 石未満で，将軍に直接会うことができる武士を C 旗本，直接会うことができない武士を D 御家人といった。将軍を中心として，E 幕府と藩が全国の土地と民衆を支配する仕組みを F 幕版体制という。

[解答]A1 万石，F 幕藩体制

※出題頻度：「幕藩体制◎」「大名：1 万石以上の武士○」「藩△」「旗本・御家人△」

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 大名とは将軍から何石以上の領地をあたえられた武士をいうか。

(2) 大名の領地と支配のしくみを何というか。漢字１字で答えよ。

(3) 将軍を中心として，幕府と藩が全国の土地と民衆を支配する仕組みを何というか。

(4) 将軍直属の家臣で領地が１万石未満で，①将軍に直接会うことができる武士を何というか。②また，直接会うことができない武士を何というか。

[解答](1) １ 万石以上　(2) 藩　(3) 幕藩体制　(4)① 旗本　② 御家人

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 「大名」とはどのような武士か，簡潔に答えよ。

(2) 「幕藩体制」とは何か，「幕府と藩」「土地と民衆」という語句を使って説明せよ。

[解答](1) 将軍から 1 万石以上の領地をあたえられた武士。

(2) 将軍を中心として，幕府と藩が全国の土地と民衆を支配する仕組み。

[大名の分類と配置]

[問題](要点把握)

次の下線部A～Gで誤っているものを2つ選び，正しい語句に直せ。

江戸幕府は大名を，将軍家の親戚であるA親藩(尾張, 紀伊, 水戸はB御三家), 古くから　　徳川家の家臣であったC譜第大名，関ヶ原の戦いのころから徳川氏の家来になったD外様大名の3つに分けた。江戸幕府を永続させるため，全国の領地の4分の1をしめる圧倒的な実力を背景にして, 徹底した大名統制を行った。大名の領地がえを行って, E関東, 中部, 近畿などの重要な所にはA藩やC大名を配置し，有力なD大名(石高が大きい藩が多かった)はF江戸から近いところに配置し，A藩やC大名をGその間に配置して監視させた。

[解答]C 譜代大名,

F 江戸から遠いところ

※出題頻度 :「外様大名◎ : 江戸から遠いところに配置◎」「親藩○, 譜代大名◎ : 江戸の近くや重要な地域に配置△」

[問題](後期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 次の①～③の大名を何というか。

① 将軍家の親戚である大名。

② 古くから徳川氏の家臣として従っていた大名。

③ 関ヶ原の戦いのころから徳川氏に従った大名。

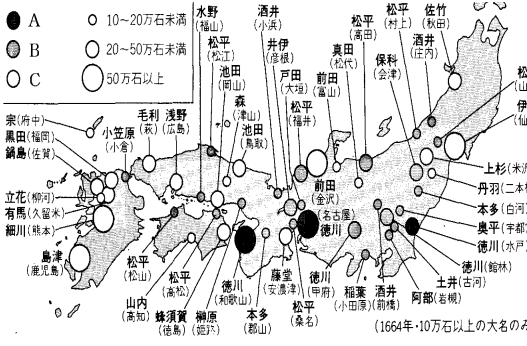
(2) (1)③の大名はどのようなところに配置されたか。「江戸」という語句を使って説明せよ。

[解答](1)① 親藩　② 譜代大名

③ 外様大名　(2) 江戸から遠いところに配置された。

[問題](前期期末)

次の江戸時代の大名の配置図を見て，後の各問いに答えよ。



(1) A は紀伊藩，尾張藩，水戸藩である。この 3 つの藩は親藩の中でも特に何と呼ばれたか。

(2) B，C にあてはまる大名は，それぞれ次の[　　]のどれか。

[親藩・譜代大名　外様大名]

(3) C はどのようなところに配置されたか。

(4) C はどのような藩が多いか。「石高」という語句を使って答えよ。

[解答](1) 御三家　(2)B 親藩・譜代大名　C 外様大名　(3) 江戸から遠いところに配置された。　(4) 石高が大きい藩が多い。

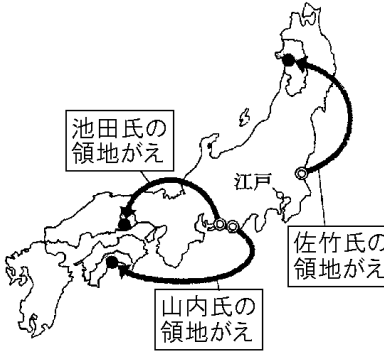
[問題](1 学期期末)

　江戸幕府は、大名の配置にどのような工夫をしたか,「親藩や譜代大名」「外様大名」「江戸」という語句を使って説明せよ。

[解答]親藩や譜代大名は江戸の近くなど重要な場所に置き．外様大名は江戸から遠いところに配置した。

[問題](入試問題)

［資料］おもな外様大名の領地がえ



◎は，外様大名の領地がえ前の城の位置，
●は領地がえ後の城の位置をそれぞれ示す。

関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は，全国支配の実権をにぎり，幕府の権力を確立させた。幕府は，大名の配置をくふうし，例えば，外様大名に対しては，領地を(　　)こともあった。(　　)にあてはまる文を，資料を参考に，「江戸」ということばを用いて，簡潔に書け。

(岐阜県)

[解答]江戸から遠い地域に移す

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[世界 1]　[世界 2]　[日本 1]　[日本 2]

社会歴史

[古代]　[中世]　[近世]　[近代]　[現代]

社会公民

[現代社会]　[人権]　[三権]　[経済]

理科 1 年

[光音力]　[化学]　[植物]　[地学]

理科 2 年

[電気]　[化学]　[動物]　[天気]

理科 3 年

[運動]　[化学]　[生殖]　[天体]　[環境]

【FdData 中間期末製品版のご案内】
このPDFファイルは,FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で,印刷・編集を自由に行うことができます。
◆FdData 中間期末の特徴
中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は,実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため,出題傾向の90%以上を網羅しております。
FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは,「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では，ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」,「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として，塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ，成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし，FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を，鉛筆を使って一問一問解き進むことで，大きな学習効果を得ることができます。さらに，製品版は，すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理，歴史，公民：各 7,800 円

理科 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

数学 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

ご注文は電話，メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは，Google などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。
（「amazon　fddata」で検索）

【Fd 教材開発】電話：092-811-0960
メール： info2@fdtext.com